

令和2年度 執行方針

3月9日に行われた第1回町議会定例会で宮坂町長は令和2年度の施政方針、遠藤教育長は教育行政執行方針を述べました。

北海道胆振東部地震からの復旧・復興についてや町政運営の基本姿勢、まちづくりの取り組み方針など主な内容を紹介します。

ひとのうごき

令和2年3月31日現在 ()内は前月比

人口 4,452人 (-29)
男 2,225人 女 2,227人

世帯数 2,107世帯 (-3)

広報あつま

2020年 4月号
令和2年

もくじ
CONTENTS

- 2 ひとのうごき
- 3-7 町長施政方針、教育長教育行政執行方針
- 8-9 令和2年度予算
- 10 令和2年第1回町議会定例会
- 11 町職員の人事異動
- 12-18 お知らせ
- 19 災害復旧工事
生活支援相談員だより
災害ボランティアセンターだより
- 20-21 被災者支援情報、法務局メモ
- 22 まちの話題
- 23 厚高インフォメーション/まちのアイドル
- 24 防災のページ
- 25 健康情報
- 26 保健の掲示板
- 27 子育て支援センター
- 28 こぶしの湯あつま
厚真産ハスカップフェア参加者募集
- 29 情報ひろば

3月1日～3月31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

今月の表紙
COVER



厚真中央小学校第73回卒業証書授与式が3月19日、同校体育館で行われました。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業生と保護者、教員に限定して行われ、23人の児童が学び舎を巣立ちました。

施政方針(要約)

新たな時代に活力ある厚真を取り戻す



厚真町長
宮坂 尚市朗

平成30年北海道胆振東部地震災害からの復旧・復興について

▼公共土木施設等の復旧

町道については、町道桜丘幌里線や幌里沢線などの復旧、また北海道に代行委託する箇所ではオバウス沢線や幌内沢線の復旧を進めてまいります。

町が管理する河川については、チケッペ川の上流部やチカエツ川など、また、北海道に代行委託する箇所では、赤間の沢川やオバ

ウス沢川などの復旧を進めてまいります。
北海道が管理する道道については、引き続き、上幌内早来停車場線の富里地区等の復旧が進められます。道河川については、厚幌ダムでは法面工や崩土の除去などが実施され、また、厚真川の復旧および日高幌内川上流部での地滑り対策工が引き続き進められ、天然ダム化の懸念が解消されてまいります。

▼砂防・斜面対策事業

日高幌内川やチケッペ川など4溪流の国直轄の緊急砂防事業については、本年度から砂防堰堤の嵩上げなど恒久対策工事が進められます。
また、北海道が施工するシユルク沢川など10溪流の砂防事業と吉野地区と富里地区の急傾斜地崩落対策事業については、早期の完成をめざしています。

簡易水道施設については、富里、吉野地区で復旧工事を行い、富里浄水場は8月頃に運転を再開する予定です。

宅地耐震化推進事業については、豊沢ルーラルビレッジ地区と新町パークタウン地区において、地すべり対策の工事に着手します。完成予定は、ルーラルビレッジ地区は令和4年度、新町パークタウン地区は令和3年度を目途に、宅地の耐震化を図ってまいります。

▼農林水産業関連施設の復旧

直轄災害復旧事業(勇払東部地区)は、厚真ダムの洪水吐や取水施設、放流施設の復旧作業が本格的に始められる予定となっております。
また、用水路については、令和3年度以降に、部分的に用水供給が行われる予定となっております。
国営農業用水再編対策事業は、直轄災害復旧事業の完了後となり、事業完了は令和6年度を予定しておりますが、一日も早く安定的な農業用水が供給されるよう事業の円滑な実施を国に働きかけてまいります。
土砂の流入などにより被害を受けた農地155・31ヘクタール、農業施設62箇所の復旧については、本年3月までに完了する見込みとなっております。本年度は土砂の仮置き場となっており、本年度は土砂の仮置き場となっている幌内沢を除き、ほとんどはほ場で作付けが可能となります。

農業者の経営再建に際しても、被災直後から本年3月まで実施している被災農業者向け経営体育成支援事業による農業施設や機材の修繕の再取得が進み、本年の営農再開に向けては順調な復旧状況と見込んでいま

「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.atsuma.lg.jp/office/>

広報あつまの電子書籍はこちらから。
www.hokkaido-books.jp

北海道内のすべてがそろった「電子書籍」ポータルサイト「Hokkaido Books」
Hokkaido books

Hokkaido Books 実行委員会(株式会社 須田製版 内) Tel.011-621-1000(代表)

す。
J Aとまこまい広域の生産施設や
共同利用施設については、早期修繕、
同J Aが計画する上野地区農産物集
出荷貯蔵施設の建設を支援してまい
ります。

林道については、3路線23カ所の
災害復旧工事のうち、本年3月まで
に14カ所が完了する予定となってお
り、本年度は2路線5カ所の復旧工
事を予定しています。

治山事業については、北海道が実
施主体となりますが、災害復旧事業
等で計画している135カ所のうち、
着手済みは54カ所、令和5年度の
事業完了の見込みです。

▼住まいの再建

被害を受けた住宅については、住
宅の改修・再建のための住民相談や
各種支援制度を引き続き実施すると
ともに、災害公営住宅など公的住宅
の建設を推進し、本年中に迎える応
急仮設住宅の入居期限までには、す
べての避難者の住宅再建や恒久的住
宅への住替えが可能となるよう取り
組んでまいります。

また、本格的修繕や再建が未定な
方々に対してのケースマネジメント
や宅地耐震化などの環境改善によ
り、個別の計画を明確にできるよう
支援を強化してまいります。

▼厚真町復旧・復興計画の策定

北部山間地以外の幌里地区および
ルーラルビレッジ地区の地域再生計
画の策定について引き続き検討して

▼農業農村整備事業

道営ほ場整備事業については、豊
共第2、幌内富里、1区下流、1区
上流地区の4地区で整備工事、新た
に幌内沢地区では基本設計に着手
し、計5地区での事業実施を予定し
ております。また、次期採択をめぐ
りす上鹿沼第1地区は、本年度、計画
樹立の手続きを開始するとともに、
早期の採択に向けて調整を図ってま
いります。

▼森林の再生と林業の振興

森林の再生と林業復興について
は、地震によって被害を受けた山林
への治山工事、路網の復旧・新設工
事を推進してまいります。特に林業
インフラの再整備を加速してまいり
ます。

快適に暮らせる
あつまをめざして

▼都市計画の推進

復旧・復興計画に即した土地利用
を図るため、厚真町都市計画マス
タープランの改訂を行います。併せ
て、拠点となる市街地に居住地や公
共施設、集客施設等の都市機能を集
約したコンパクトなまちづくりを推
進するため、本年度から2カ年で立
地適正化計画を策定してまいりま
す。

▼道路・河川の整備

本年度は、新町フォールム線の完
成をめざすほか、幌内左岸線や上厚

まいります。

今年度策定する第3期の計画で
は、震災遺構の検討や防災拠点整
備、公共施設再編整備の検討など、
本年度に改定する第4次厚真町総合
計画と連動した、しなやかで災害に
強いまちづくりに資する復興施策を
示してまいります。

▼北部地域の再生について

北部山間地の幌内、高丘、富里及
び吉野地区の4地区については、一
時避難機能を有する集会施設の設計
と、災害時の避難迂回路となる道路
の改良に向け調査・設計を実施して
まいります。併せて、住宅の自力再
建は困難ですが、引き続き同
地区での生活再建を希望する方を対
象とする小規模宅地改良住宅の早期
建設に向け準備を進めてまいります。

また、町と連携し、北部地域の見
守りや地域支援を主な任務とする駐
在員として集落支援員を配置してま
いります。

▼北海道胆振東部地震の教訓

災害対応の検証をしっかりと行い、
今後の大規模自然災害への教訓とす
るとともに、「災害に強いまちづくり」
を構築するため、災害対策本部組織
のあり方などを含め本町の地域防災
計画、業務継続計画などの見直しを
進めてまいります。

人が輝く
あつまをめざして

▼生涯学習の充実

学校教育では、令和3年度に予定
されている上厚真小学校の登校に必
要な町道拡幅改良工事に向けた実施
設計を行うほか、厚南中学校駐輪場
の拡張工事を行います。また、ICT
教育の推進充実に向け、全学校で
校内無線LAN環境等の充実を図り
ます。

子どもたちの心のケアについては、
昨年11月に設置した「厚真町心のサ
ポート・防災学習推進協議会」を中
心に、子どもたちの心の状況や変化
をきめ細かく把握するよう努めてま
いります。

また、大規模災害の経験や知見を
踏まえた防災学習についても順次実
施してまいります。

社会教育では、昨年供用を開始し
た「冒険の杜」の整備を、引き続き
地域住民の参画のもと進め、上厚真
放課後児童クラブや各ごども園にも
取組の輪を広げてまいります。

健やかで安心な
あつまをめざして

▼高齢者福祉・介護、障がい者福祉
の充実

社会福祉法人北海道厚真福祉会が
運営する特別養護老人ホーム「豊厚
園」と障害者支援施設「厚真リハビ

建設の手続きを開始し、本年度内の
系統連系をめぐしてまいります。

▼建築・住宅

公営住宅については、新町地区30
戸、上厚真地区16戸の建設を実施し
てまいります。

子育て支援住宅は、令和3年度に
上厚真地区で建設を予定しており、
本年度は設計を行ってまいります。

▼簡易水道・公共下水道

簡易水道については、上厚真地区
では道道改良工事に併せて老朽管対
策のため布設替え工事を実施いたし
ます。

また、安全で安心な水の安定供給
のため計画的に実施する配水管の耐
震化、複線化については、本年度は
新町および豊沢地区で工事を実施し
てまいります。

統合簡易水道事業は、既設浄水場
の切替工事と幌内地区で配水管の布
設工事を実施し、本年度で完了する
見込みであります。

水道未普及解消事業は、高丘地区
および軽舞地区で工事を実施してま
いります。

▼交通安全・防災対策

防災対策については、災害検証結
果をもとに厚真町地域防災計画の見
直し、各種対応・運営等マニュアル
の改訂を行ってまいります。

併せて、全自治会における自主防
災組織の設立と各地域の避難計画の
策定を進め、共助、公助による防災
体制を確立するとともに、一昨年度

リセンター」については、新町地区
において、できるだけ早期の開設を
めざして引き続き支援してまいりま
す。

今年度は、厚真町高齢者保健福祉
計画・厚真町介護保険事業計画A・
8プランおよび第6期厚真町障がい
福祉計画・第2期厚真町障がい児福
祉計画の策定年となります。

▼保健・医療の充実

災害発生後、応急仮設住宅等、避
難生活を余儀なくされた町民はもと
より、すべての町民の方の健康状態
の把握、健康管理のあり方、特に心
のケアが重要な課題となっています。
各関係機関と連携し、心の相談の
強化と地域での見守り、支えあいが
できる体制をつくることを目的に、
新たにゲートキーパー養成講座を開
催し、心のケアを最優先に進めてま
いります。

みのり豊かな
あつまをめざして

▼農業農村の振興

本町農業の持続的発展を図るた
め、国が策定を進めている新たな「食
料・農業・農村基本計画」を見据え
ながら、本町においても高度化する
農業・農村づくりをめざし、本年度
をもって終了する第7次厚真町農業
振興計画の次期計画の策定に取り組
んでまいります。

に策定した町の緊急対応タイムライ
ンの適正運用を図り、災害に強いま
ちづくりを引き続き進めてまいりま
す。さらに、厚南地区における防災
行政無線のデジタル化を図り、災害
時における情報伝達の確立を進め、
減災の取組を進めてまいります。
また、災害対策本部の効果的な構
成・配置を行うとともに、各種防災
訓練の実施、防災研修の開催を通じ
て職員の防災知識と対応能力の向上
を図り、防災・減災対策に万全を期
してまいります。

みんなで支える
あつまをめざして

▼第4次厚真町総合計画の改定

平成28年度にスタートした第4次
厚真町総合計画は、本年度で計画期
間の折り返しとなる前期5年間の経
過することから、これまでの取組の
成果や震災の影響を検証し、令和3
年度からの重点施策の展開に必要な
後期基本計画の再編成に着手しま
す。